



平成 22 年 9 月 16 日
岡 山 大 学

ケニアでの作物生産に貢献する国際共同研究プログラム

岡山大学資源植物科学研究所（植物研）では、全国共同研究拠点として「植物ストレス科学研究」のネットワーク作りを進めています。この度、日本学術振興会の「アジア・アフリカ学術基盤形成事業」に採択され、ケニアのジョモケニアッタ農工大学との国際交流事業を始めることになりました。植物研を中心とする岡山大学が持つ有用な遺伝リソースや作物栽培技術、作物のストレス応答に関する世界有数の研究成果を生かし、東アフリカでの「次世代作物開発」を日本が主導するための交流プログラムを進めます。

【プログラム】日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業

「東アフリカにおける作物ストレス科学研究ネットワーク拠点形成と次世代作物の開発利用」

日本側コーディネーター：岡山大学・教授・山本洋子 期間：平成 22～24 年度
相手国側拠点機関：ケニア・ジョモケニアッタ農工大学

アフリカでは食糧不足が深刻化しつつあり、ケニアでは 2009 年 2 月にキバキ大統領が食糧不足の窮状を緊急発表しています。岡山大学は、1980 年代にジョモケニアッタ農工大学の設立にも関わり、大学間交流協定による交流実績があります。これらの状況を踏まえ、今年度から本事業によりケニアを中心とした東アフリカ諸国の研究者と作物ストレス科学共同研究を進めるプラットフォーム作りを行うことになりました。植物研・農学部などが持つ世界有数の研究リソース・技術を用いて、不良環境を克服する「次世代作物」の開発利用をアフリカで可能にすることを目指します。

【今年度の交流事業（別紙参照）】

- ・ ケニア側研究者の受け入れ（8 月～10 月、2 名）
- ・ ケニアでのシンポジウム開催（11 月 17 日、参加規模 300 名程度、岡山大学から 8 名参加、他大学からも参加、ウガンダ、タンザニア、ルワンダ研究者も招へい）

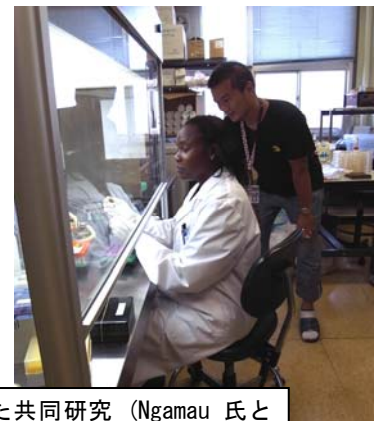
お問い合わせ>

岡山大学 植物研・坂本 亘

（電話番号）086-434-1206

（FAX番号）086-434-1206

（Email）saka@rib.okayama-u.ac.jp



始まった共同研究（Ngamau 氏と谷助教、8 月 17 日、植物研）